

# 令和7年度 桜町小学校 学校評価

アンケート実施日 令和7年11月

アンケート実施者

児 童 324 名

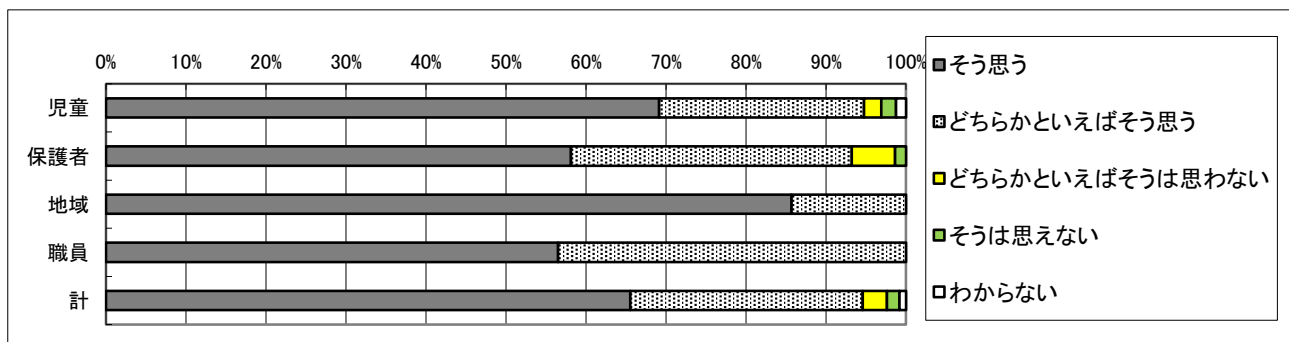
保護者 148 家庭

地 域 7 名 (回収したもので集計)

※未回収+判断できない= 原則「わからない」で集計  
※地域=区役員・民生委員・児童クラブ・保育園

## 1 入学して（入学させて）よい学校か、通わせるのによいと思われる学校か。

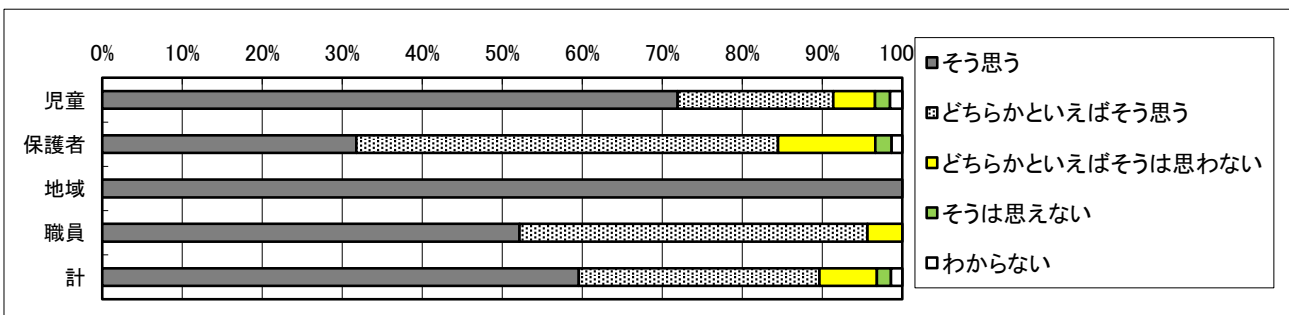
	児童	保護者	地域	職員	計
① そう思う	224	86	6	13	329
② どちらかといえばそう思う	83	52	1	10	146
③ どちらかといえばそうは思わない	7	8	0	0	15
④ そうは思えない	6	2	0	0	8
⑤ わからない	4	0	0	0	4
	324	148	7	23	502



「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と肯定的に回答した割合は、児童・保護者・地域・職員4者とも高い。これまでの傾向を見ても、大きな変化は見られず安定している。今後とも保護者や地域の皆様との連携を密にし、児童が安心して、意欲的に過ごせる学校を目指していきたい。

## 2 ためになる授業、好きな授業がたくさんあったか。（児童） 学校は、学力を伸ばし、かしこくはぐくんでいるか。（保護者・地域・職員）

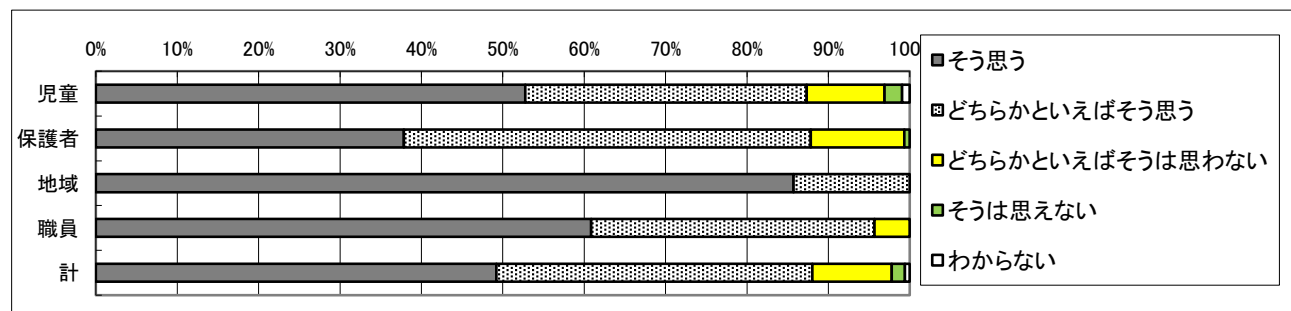
	児童	保護者	地域	職員	計
① そう思う	233	47	7	12	299
② どちらかといえばそう思う	63	78	0	10	151
③ どちらかといえばそうは思わない	17	18	0	1	36
④ そうは思えない	6	3	0	0	9
⑤ わからない	5	2	0	0	7
	324	148	7	23	502



「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と肯定的に回答した割合は、児童・保護者・地域・職員4者とも高い。これまでの傾向を見ると、大きな変化は見られないが、やや減少している。本年度は、タブレットを使用する新しい教育活動をさらに取り組んできた。今後も校内研修を継続し、ICTだけでなく、各教科の基礎基本の定着の向上に努め、「できた、わかった」を実感できる授業を工夫し、「自ら学びを楽しむ子」の育成に取り組んでいきたい。

### 3 児童がやさしく・たくましく育っているか。学校は、はぐくんでいるか。

		児童	保護者	地域	職員	計
①	そう思う	171	56	6	14	247
②	どちらかといえばそう思う	112	74	1	8	195
③	どちらかといえばそうは思わない	31	17	0	1	49
④	そうは思えない	7	1	0	0	8
⑤	わからない	3	0	0	0	3
		324	148	7	23	502

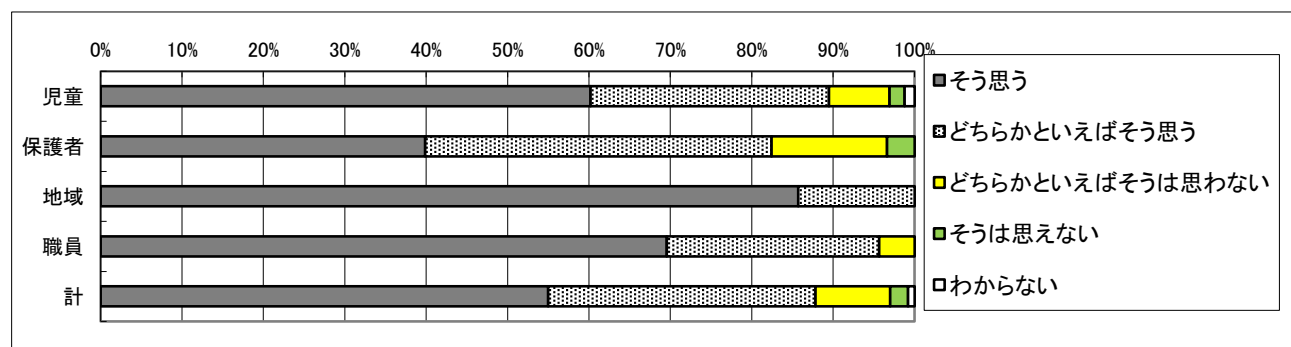


2の設問同様、学校教育目標「やさしく、かしこく、たくましく」に関する項目である。全体的にみると、多少の変化はあるものの、同程度の結果を残している。日々の生活では、外で元気よく遊ぶ姿が多く見られている。学習の中では、ペア・グループでの話し合い活動を積極的に取り入れ、自分の考えを伝えるだけでなく、友達の考えを受容することにも努めている。児童が達成感を十分に感じられるように活動の工夫を今後も考えていきたい。

### 4 わくわくしたり「よかった」と思えることがある学校か。（児童）

学校は、夢中になれる活動や情操を豊かにする機会を大切にしているか。（保護者・地域・職員）

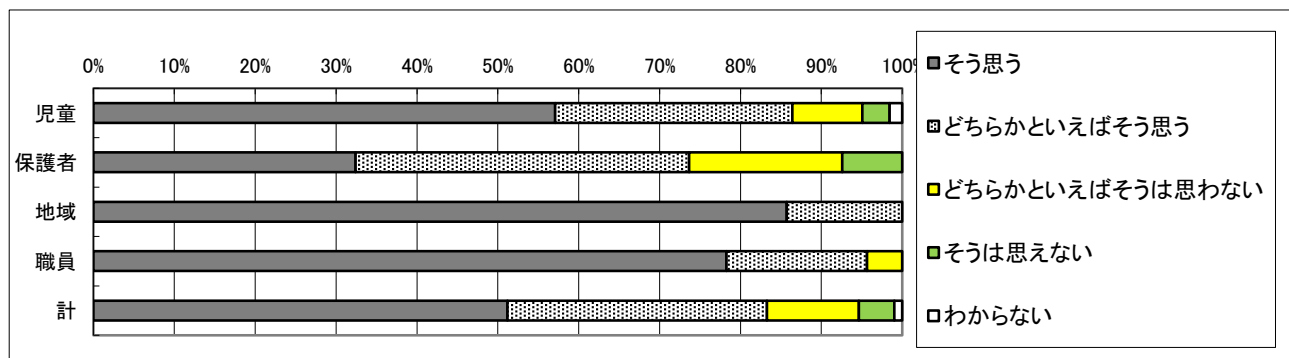
		児童	保護者	地域	職員	計
①	そう思う	195	59	6	16	276
②	どちらかといえばそう思う	95	63	1	6	165
③	どちらかといえばそうは思わない	24	21	0	1	46
④	そうは思えない	6	5	0	0	11
⑤	わからない	4	0	0	0	4
		324	148	7	23	502



この項目については、児童・保護者とも肯定的な解答が9割を切っている。授業や行事などを通して人との関わりをもつ活動や、社会科見学や体験活動、出前講座等を積極的に取り入れるなど児童の興味関心を引き出す取り組みを心がけてきた。今後は、児童に達成感をもたせるための手立てを考えた取り組みを検討しながら、児童が意欲的に取り組めるように考えていく必要がある。

**5** 先生はあなたのことをよくわかってきているか。先生の指導がわかるか。  
教員は児童に応じて適切な願いをもって指導に当たっているか。（保護者・地域・職員）

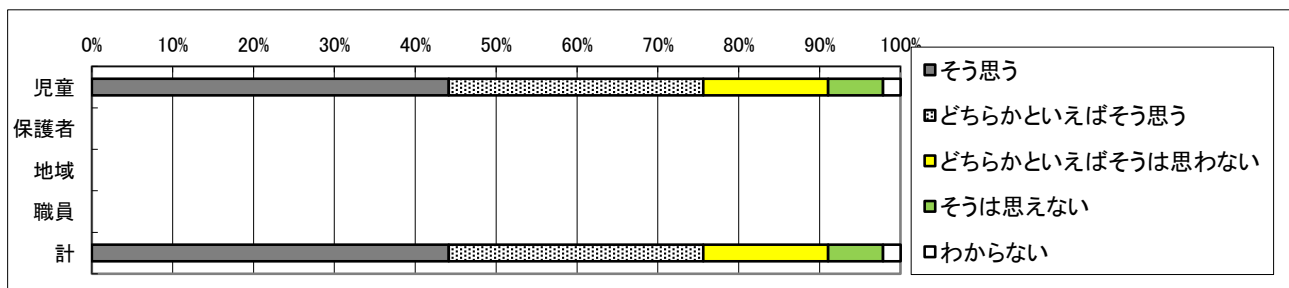
		児童	保護者	地域	職員	計
①	そう思う	185	48	6	18	257
②	どちらかといえばそう思う	95	61	1	4	161
③	どちらかといえばそうは思わない	28	28	0	1	57
④	そうは思えない	11	11	0	0	22
⑤	わからない	5	0	0	0	5
		324	148	7	23	502



肯定的な回答がここ2年で減少している。学校では、児童の活動の様子を日ごろから、よく見て指導や支援をしている。また、生活アンケートや教育相談の時間を設けて対応している。気になる児童の様子については職員間で共通理解を図って対応している。児童の様子や児童への願いを家庭と共有し、保護者とともに子どもを育てる取り組みをする努力を怠らないように、常に反省し改善する姿勢をもちたい。

**6A** 困ったことを先生に相談できますか。（児童）

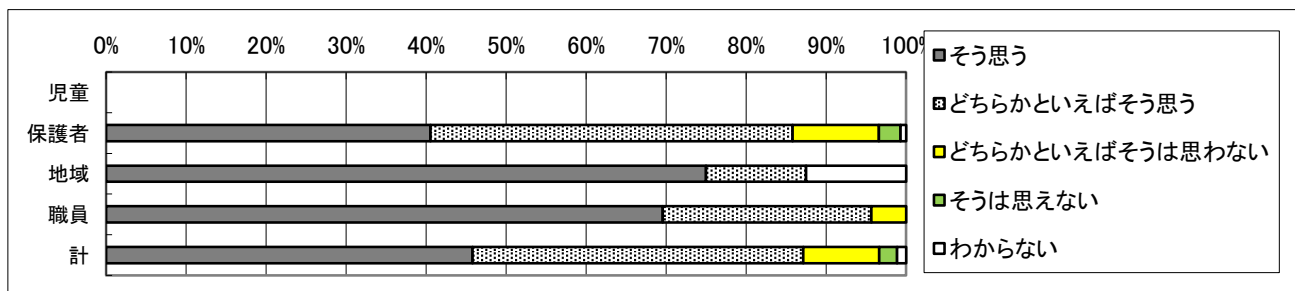
		児童	保護者	地域	職員	計
①	そう思う	143				143
②	どちらかといえばそう思う	102				102
③	どちらかといえばそうは思わない	50				50
④	そうは思えない	22				22
⑤	わからない	7				7
		324	0	0	0	324



「そう思う」「どちらかといえばそう思う」との回答は、昨年度より減少した。「そうは思わない」「思わない」と答える児童が少なくないことについて反省し、担任のみならず、どんな職員にも相談ができるようにし、謙虚に耳を傾けることのできる職員集団でありたい。

**6B** 学校はわかりやすい授業になるように努めていると思うか（保護者・地域）  
わかりやすい授業になるように努めているか（職員）

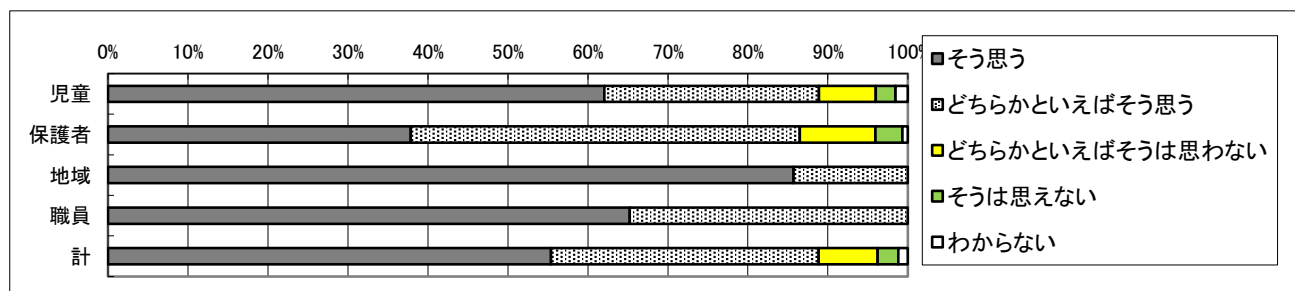
	児童	保護者	地域	職員	計
① そう思う	0	60	6	16	82
② どちらかといえばそう思う	0	67	1	6	74
③ どちらかといえばそうは思わない	0	16	0	1	17
④ そうは思えない	0	4	0	0	4
⑤ わからない	0	1	1	0	2
	0	148	8	23	179



昨年度と比べて大きな変化はない。より良い学習が進められるように現職研修に力をいれ、ICT教育、ペア・グループ活動など授業の改善に努めている。今後も「自ら学びを楽しむ子」の育成に努め、その成果を家庭に伝えていきたい。

**7** 先生は家庭や地域の方と力を合わせてがんばっているか。（児童）  
PTAや地域の諸機関との情報の共有や連携を適切にしているか。（保護者・地域・職員）

	児童	保護者	地域	職員	計
① そう思う	201	56	6	15	278
② どちらかといえばそう思う	87	72	1	8	168
③ どちらかといえばそうは思わない	23	14	0	0	37
④ そうは思えない	8	5	0	0	13
⑤ わからない	5	1	0	0	6
	324	148	7	23	502

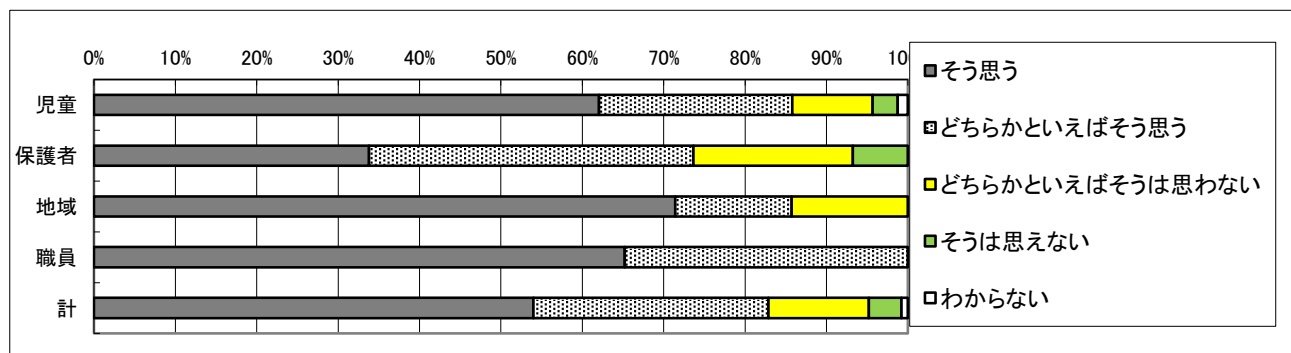


肯定的回答の割合は、昨年度と同様であり、9割近い結果である。PTA実行委員会、学校運営協議会（支援の会）、児童民生委員情報交換会などで、学校の様子や課題について情報を共有したり相談したりしている。学校行事をはじめ、地域の方を講師にした出前講座や三代目交流会を行うことができた。時代の変化はあるが、重要性を再確認し、今後も地域とのかかわりを継続していきたい。

## 8 学校や先生は、あなたたちの意見や希望を聞いてくれるか。（児童）

学校は、子どもや保護者、地域の意見を聞き、その声を学校運営に反映しているか。（保護者・地域・職員）

		児童	保護者	地域	職員	計
①	そう思う	201	50	5	15	271
②	どちらかといえばそう思う	77	59	1	8	145
③	どちらかといえばそうは思わない	32	29	1	0	62
④	そうは思えない	10	10	0	0	20
⑤	わからない	4	0	0	0	4
		324	148	7	23	502

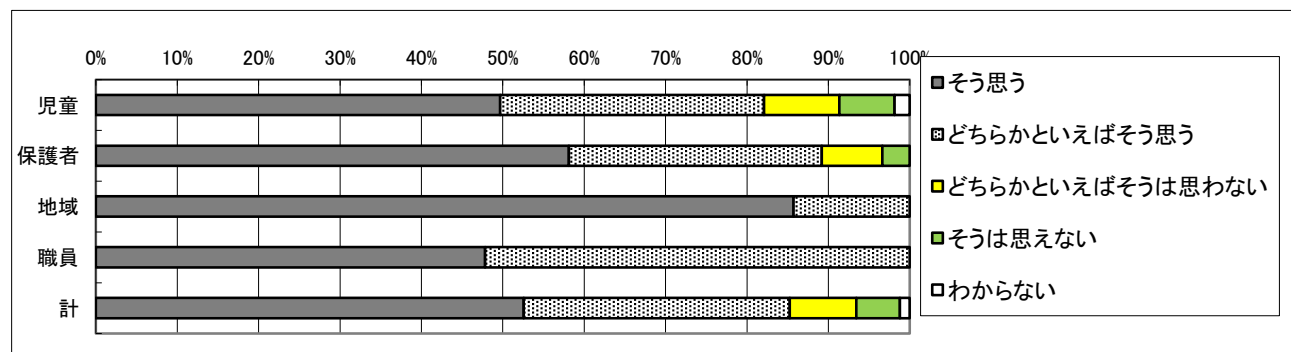


肯定的な回答は昨年度、今年度と連続して減少している。今後も学校での活動の様子を伝える努力をしながら、児童や保護者、地域の声に耳を傾け、広く意見を求めている。児童の考えが反映する授業や行事、委員会での取り組みなどをさらに工夫していきたい。

## 9 学校へ来るのがたのしいか。（児童）

子供たちは楽しく、充実した学校生活を送っていると思うか。（保護者・地域・職員）

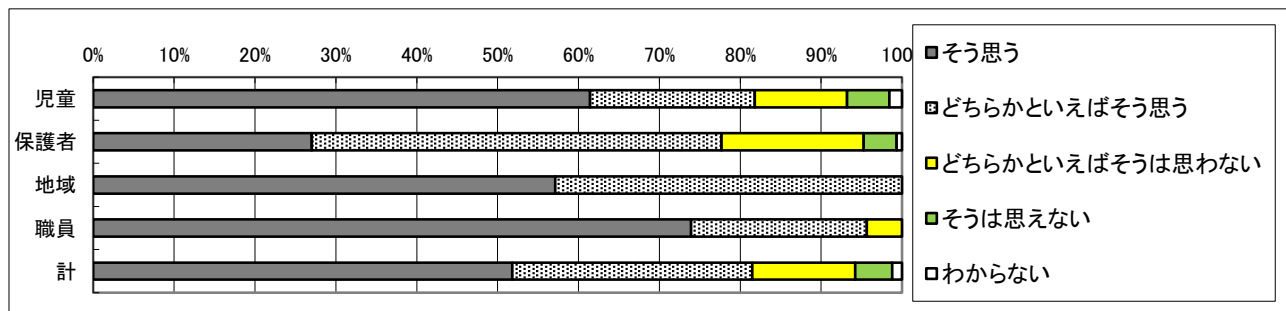
		児童	保護者	地域	職員	計
①	そう思う	161	86	6	11	264
②	どちらかといえばそう思う	105	46	1	12	164
③	どちらかといえばそうは思わない	30	11	0	0	41
④	そうは思えない	22	5	0	0	27
⑤	わからない	6	0	0	0	6
		324	148	7	23	502



肯定的回答の割合は、全体で見るとこの3年間で少しずつ9割に回復しつつある。否定的な回答をしている児童が2割近くいることを考慮し、児童の様子をよく観察し、どの子も前向きに学校生活を送れるように支援する必要がある。

## 10 学校や先生は「いじめ」がないか、あななたちを見守っているか。（児童） 学校はいじめ対策や対応をしていると思うか。（保護者・地域・職員）

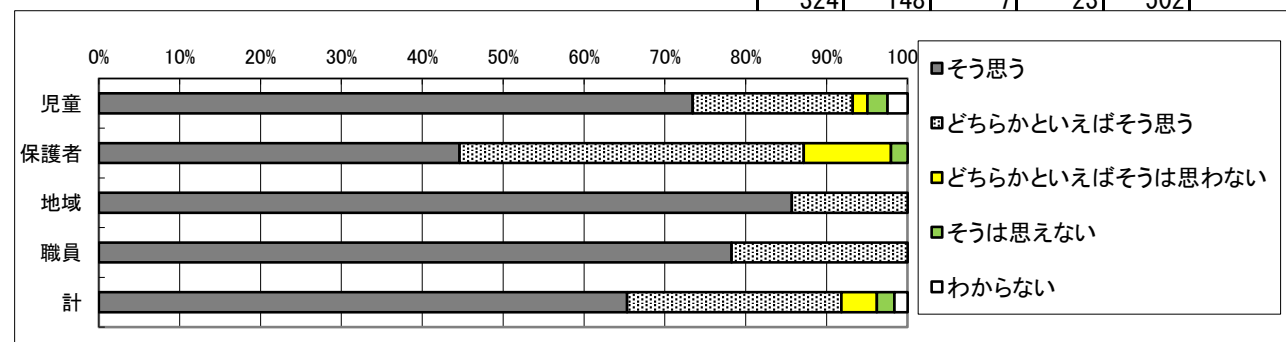
		児童	保護者	地域	職員	計
①	そう思う	199	40	4	17	260
②	どちらかといえばそう思う	66	75	3	5	149
③	どちらかといえばそうは思わない	37	26	0	1	64
④	そうは思えない	17	6	0	0	23
⑤	わからない	5	1	0	0	6
		324	148	7	23	502



昨年度と比べて、肯定的な回答は全体的にみると大きく減少している。集団生活をしている以上トラブルはつきものであり、いじめに発展する可能性も十分にあるとの認識をもって対応にあたらないといけない。いじめに関する出前講座や道徳の授業などを継続して行い、いじめに発展しないよう努めている。トラブルが発生したときには、4役を含む関係する職員と連携を図り、速やかな対応をしている。きちんと状況を把握し、家庭への連絡を密にしていきたい。

## 11 学校や先生は、あななたちを災害や危険なことから守り安全な生活ができるように気をつけているか。（児童） 学校は防災や防犯、子供たちの安全を確保することに関して、対応や対策をしているか。（保護者・地域・職員）

		児童	保護者	地域	職員	計
①	そう思う	238	66	6	18	328
②	どちらかといえばそう思う	64	63	1	5	133
③	どちらかといえばそうは思わない	6	16	0	0	22
④	そうは思えない	8	3	0	0	11
⑤	わからない	8	0	0	0	8
		324	148	7	23	502



今年度も全体的に高い評価を得ることができた。災害や防犯における訓練を学校行事に取り入れて取り組んできた。避難訓練だけでなく、引き渡し訓練、引率下校、着衣泳なども改善しながら継続して取り組んでいる。危機管理マニュアルを見直すとともに、児童の安全教育に関しては、保護者や地域からの意見を取り入れて、今後も不備な点があれば改善をしていきたい。